

令和2年度「世界青年の船」事業 概要

現在、グローバル化が進展する中で、あらゆる分野で国境を越えた協力・調整・交渉が不可欠となっており、国際社会・地域社会等でグローバル化対応を牽引・指導する次世代リーダーが必要となっている。

「世界青年の船」事業は世界各地から集まり多様なバックグラウンドを持った外国青年とのディスカッションや文化交流、参加青年主体のワークショップ等を通して、異文化対応力、コミュニケーション力、リーダーシップ、マネジメント力の向上を図ることにより、国際化の進展する各分野でリーダーシップを発揮して社会貢献を行うことができる青年を育成するとともに、国境を越えた強い人的ネットワークの構築を図ることを目的として実施する。

特に、今回の事業では令和3年(2021年)に出航予定であることから、「東日本大震災から10年」を研修の題材とし、自然災害の脅威と復興の軌跡を学ぶ東北地方訪問等を通じて、研修内容の充実と青年同士の関係強化を併せて目指すものとする。

<事業の概要>

(注)本概要は令和2年度政府予算案に基づく令和2年1月時点の予定であり、訪問国及び日程は、今後変更することがある。

1 本体プログラム

(1) 訪問国

スリランカ、インド ほか

(2) 日程

- ・令和3年1月25日(月)から30日(木)までの6日間(陸上研修)
- ・令和3年1月31日(金)から3月5日(金)までの34日間(船上研修)

(3) 参加青年

日本参加青年約120人及び外国参加青年約120人が参加する。

(4) 参加国

カナダ、コスタリカ共和国、インド、オマーン国、クエート国、ポーランド共和国、ロシア連邦、南アフリカ共和国、トンガ王国、スリランカ民主社会主義共和国及び日本

(5) 船内における活動

いくつかのコーステーマに分かれて行う「コース・ディスカッション」や各種セミナー、各国事情を紹介し合う「ナショナル・プレゼンテーション」、その他の多国間交流活動等を行う。

(6) 日本及び訪問国における活動

地元青年等との交流を行うとともに、関連施設の訪問等を行う。

(7) 共通語

本事業における共通語は、英語とする。

2 研修

青年海外派遣の効果を最大限に高めるため、日本参加青年に対して以下の研修を実施する(東京都内で合宿形式により実施)。

(1) 事前研修

ア 時期及び期間

令和2年9月18日(金)から23日(水)までの6日間(5泊6日)

イ 研修目的

事業の趣旨、内容、訪問国等についての理解を深め、必要な諸準備を行うとともに、参加青年としての心構え及び訪問国における活動の基本を習得し、併せて出航前研修までの自主研修期間の準備と目標を明確にする。

(2) 出航前研修

ア 時期及び期間

令和3年1月23日(土)、24日(日)の2日間

イ 研修目的

船内及び訪問国における諸活動の準備、その他事業遂行上必要な諸準備を行う。

(3) 帰国後研修

ア 時期及び期間

令和3年3月5日(金)、6日(土)の2日間(1泊2日)

イ 研修目的

事業成果を取りまとめ、その成果を踏まえた事業終了後における諸活動への理解を深める。

3 参加青年の任務と選任等

(1) 任務

- ア 日本参加青年は、団体行動の下に、研修及び本体プログラムに参加し、団務を分担する。
また、事前研修後の自主研修期間にあつては、参加国についての知識や語学能力の向上に励むとともに、我が国の歴史や社会情勢の認識を深めるなど、積極的に本体プログラムの準備に努めなければならない。
- イ 日本参加青年は、帰国後、活動報告書を内閣府に提出する。
- ウ 日本参加青年は、事業参加後およそ1年後、5年後、10年後に内閣府が行うフォローアップ調査(活動状況等)に回答する。

(2) 選任等

- ア 日本参加青年は、都道府県知事(青年国際交流主管課(室)が教育委員会に属する場合には、教育長)又は全国的組織を持つ青少年団体等の代表者から第1次選考を経て推薦された者の中から、内閣府が選考し、決定する。
- イ 外国参加青年は、参加各国政府及び当該国を管轄する日本国在外公館等の協力を得て、内閣府が決定する。

4 乗船及び帰国

- (1) 日本からの参加者は、陸上研修終了後、日本から乗船し、本体プログラムの終了後、日本で下船する。
- (2) 外国からの参加者は、各国から航空機で日本に集合し、陸上研修終了後、日本からの参加者と共に日本から乗船し、本体プログラムの終了後、日本から航空機で帰国する。

5 経費

- (1) 事業の実施のための経費((2)及び(3)に掲げるものを除く。)は、日本参加青年の出航前研修に参加するために必要な交通費及び帰国後研修終了後帰宅するために必要な交通費(東京23区内在住の者を除く。)を含め、内閣府が負担する。
 - (2) 次に掲げる経費は、日本参加青年本人の負担とし、参加費として日本参加青年から徴収する。(30万円程度)ただし、経済的理由により参加費の納入が困難な場合については、参加費の免除を申請することができる(「応募要領」の「9 その他」参照)。
 - ア 運航期間中の傭船料の一部及び船内供食費(1)
 - イ 事前研修、出航前研修、陸上研修及び帰国後研修における宿泊料等及び食費
 - ウ 入国査証料、旅行保険料等
 - (3) その他、以下の経費についても、日本参加青年本人の負担とする。
 - ア 事前研修に参加するための往復旅費
 - イ 旅券発行手数料、予防接種料
 - ウ 疾病又は傷害の治療費用及びそれに付随する費用
 - エ 小遣いその他の個人の用に必要な経費
 - オ 日本における事後活動組織である日本青年国際交流機構への事後活動研修費(3万円)(2)
- (1)「傭船料の一部」については、参加青年として決定後、事業参加を辞退した場合には、返還しない。
 - (2)内閣府の青年国際交流事業に参加した青年等が自主的に組織している事後活動組織「日本青年国際交流機構」では、会員たちが事業参加の経験とネットワークを生かしながら、様々な形で社会に携わる活動を行っている。

令和元年度「世界青年の船」事業 プログラムの概要

1. 研修内容

ア コース・ディスカッション

地球規模の社会貢献を共通のテーマに、「文化遺産の保護」、「グローバルシティズンシップ」、「地球環境と気候変動:行動と変化のためのツールを磨く」、「多文化共生」、「健康とウェルビーイング」、「平和構築と国際協力」、「平等な社会におけるテクノロジー:倫理的かつ責任あるソーシャルメディアとAIの活用」の7コース(2019年度実施)に分かれ、各分野のファシリテーターによる指導の下、英語によるディスカッションを通じて、各分野に対する理解を深めるとともに、トピックに基づいて発表・意見交換を行うことができる能力の向上を図る。

イ 「リーダーシップ・セミナー」及び「異文化理解セミナー」

リーダーシップや異文化理解力の向上を目的に、専門家によりセミナーを実施する。

ウ グループ活動

活動の基礎単位として国籍混成で組織されたA~Kの11グループごとに、自国の文化・習慣の紹介、レクリエーションなどの自主的な活動を行うとともに、与えられたテーマに基づく活動等を行う。

エ ナショナル・プレゼンテーション(NP)

各国ごとに、参加青年が、華やかな伝統舞踊・音楽、厳かな儀式、セミナー等により自国の政治、経済、社会、文化等を紹介する。

オ 自主活動・その他

多国間交流のための活動等を行う。

2. 陸上研修・船上研修中の生活規則等

ア 生活時間

研修中は、通常7時30分起床、午前2時限、午後3時限(1時限:70分)の研修、夕食後に1時限の研修を行い、23時就寝。

イ 船内キャビン割り

男性用のキャビンと女性用のキャビンは別エリア。1つのキャビンを異なる国の3人で使用(3人部屋)。

ウ 服装

服装は基本的に自由。ただし、表敬訪問、レセプション等公式行事の際には、フォーマルウェア又はナショナル・ドレス(民族衣装)を着用。

3. 訪問国活動

訪問国においては、大統領等の要人への表敬訪問、ディスカッション・テーマに関連した施設や団体等への訪問、地元青年等とのディスカッションや文化交流、伝統文化の体験などを行う。

令和元年度「世界青年の船」事業日程

	2020年		場 所	備船日数	事 項
1	1月10日	金	成田・羽田		外国青年来日
2	1月11日	土	NYC		参加青年オリエンテーション、歓迎レセプション } 出航前研修
3	1月12日	日	NYC		
4	1月13日	月	NYC		
5	1月14日	火	NYC		
6	1月15日	水	横浜	1	【乗船日】
7	1月16日	木	横浜	2	出港式、出航(16:00)、船内オリエンテーション
8	1月17日	金	(航海日)	3	
9	1月18日	土	(航海日)	4	
10	1月19日	日	(航海日)	5	
11	1月20日	月	(航海日)	6	
12	1月21日	火	(航海日)	7	
13	1月22日	水	(航海日)	8	
14	1月23日	木	(航海日)	9	
15	1月24日	金	ハワイ	10	ホノルル入港(8:00)、給油・給水、出港(17:00)
16	1月25日	土	(航海日)	11	
17	1月26日	日	(航海日)	12	
18	1月27日	月	(航海日)	13	
19	1月28日	火	(航海日)	14	
20	1月29日	水	(航海日)	15	
21	1月30日	木	エンセナダ	16	エンセナダ入港(8:00)、メキシコ寄港地活動
22	1月31日	金	エンセナダ	17	メキシコ寄港地活動
23	2月1日	土	エンセナダ	18	メキシコ寄港地活動、エンセナダ出港(20:30)
24	2月2日	日	(航海日)	19	
25	2月3日	月	(航海日)	20	
26	2月4日	火	(航海日)	21	
27	2月5日	水	(航海日)	22	
28	2月6日	木	(航海日)	23	
29	2月7日	金	ハワイ	24	ホノルル入港(8:00)、給油・給水、出港(17:00)
30	2月8日	土	(航海日)	25	
31	2月9日	日	(航海日)	26	
32	2月10日	月	(航海日)	27	
33	2月11日	火	(航海日)	28	
34	2月12日	水	(航海日)	29	
35	2月13日	木	(航海日)	30	
36	2月14日	金	(航海日)	31	
37	2月15日	土	(航海日)	32	
38	2月16日	日	(航海日)	33	
39	2月17日	月	東京	34	入港(8:00)、入国手続、【下船】
40	2月18日	火	東京		陸上研修4
41	2月19日	水	東京		陸上研修5
42	2月20日	木	東京		陸上研修6 解散式、フェアウェル・レセプション
43	2月21日	金	東京:JPY		外国青年地方プログラム(5県)先へ移動 } 日本参加青年帰国後
44	2月22日	土	東京:JPY		
45	2月23日	日			
46	2月24日	月	成田・関空		外国青年帰京、【外国青年帰国】